

学習交流会「居場所ってなぁに？」開催 11月17日(火) 於せいきょう会館

●実行委員会の取り組み●

昨年度一年をかけたじっくり取り組んだ「つながりづくりのワークショップ」、これを受け今年は「居場所づくり」について話し合いをすすめています。行政でも補助金を用意するなど「居場所づくり」に高い期待を寄せています。身近にあって、人肌の温もりのような場所、誰でもが寄れてちょっと元気になる所。そんな居場所がこの実行委員会から二つ、「衣笠シニアいきいきクラブ」(ニュース9号参照)と「下鴨いきいきクラブ」(ニュース11号参照)が立ち上がったのです！3人集まればクラブとして登録でき、活動費も準じて出ます。回を重ねるごとにメンバーも増え、そこから新たな取り組みも生まれています。

●居場所づくりの報告●

洛西福祉ネットワークづくりの取り組み

今夏、洛西で始まった京都生協の移動販売車。この時ご協力を頂いたNPO法人洛西福祉ネットワーク理事の齋藤信夫さんに、洛西地域「居場所のネットワークづくり」のお話を伺いました。自然環境の保全と美しい街並みづくりをしながら30年余を経た洛西ニュータウンも、住居者の高齢化と若い世代の転入がなく世帯数に変化ないものの人口の減少、児童は以前の4分の1以下という厳しい現状に。買い物の拠点となるセンターも縮小・閉鎖され、「買い物難民」問題も。ここ洛西で住民が住み続けていくために、今までバラバラに福祉的取り組みを行っていた老人会、女性会、シニア会、NPOなどとネットワークをつくり交流会を通して地域を考え合っている。買い物取次事業所や移動販売車の働きかけ、講演会や学習会も開催し、地域の「居場所」にも取り組んでいる。独居のある高齢男性は、誰とも接点がなく会話のない日が続いていたそうだが、たまたま齋藤さんの「わくわくサロン」(居場所)に立ち寄り、それ以降はそこがその男性の地域との交流の場となっているそうだ。

「わいわいがやがや」 上京区くらしの助け合いの会ミニサロン

2000年、助け合いの会の利用会員さんのお宅を開放頂きスタート。外出のしづらい利用会員さんにとって、人が集まって来てくれることはとても嬉しく、「会」でも場所を提供して頂くことは願ってもないこと。近所の組合員や会員が集まり、お茶とお菓子で、ニュースやテレビの番組、病気のことや美味しいお店の話などネタには尽きず、まさにわいわいがやがや。今後違う場所に、もう一つこんなサロンを作りたいと思っている。

●グループ交流● こんな意見が出ました！

